

形 式：皮膚がん

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	基底細胞癌	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Treatment of basal cell epithelioma by curettage and electrodesiccation	
	論文の日本語タイトル	基底細胞癌に対する搔爬・電気凝固治療	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	BCCCQ14-1	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID	6512037	
	医中誌 ID		
	雑誌名	J Am Acad Dermatol	
	雑誌 ID		
	巻	11	
	号	5 Pt 1	
	ページ	808-14	
	ISSN ナンバー	0190-9622	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1984	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Spiller WF	Department of Dermatology, Baylor College of Medicine, and University of Texas Medical School
	その他著者 1	Spiller RF	
	その他著者 2		
	その他著者 3		
	その他著者 4		

一次研究の 8 項目	目的	基底細胞癌に対する搔爬・電気凝固治療	
	研究デザイン	後ろ向きコホート研究および症例対照研究	
	セッティング	テキサス大学	
	対象者	1976~1977 年の間に C & D で治療を行った BCC の 233 例のうち、最低 5 年以上フォローされている症例	
	対象者情報（国籍）	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（性別）	1.男性 2.女性 3.男女区別せず （ 3 ）	
	対象者情報（年齢）	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず （ 14 ）	
	介入（要因曝露）	C&E 治療	
	エンドポイント（アウトカム）	エンドポイント	区分
	1	再発率	1.主要 2.副次 3.その他（ 1 ）
	2	整容的効果	1.主要 2.副次 3.その他（ 2 ）
	3		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	4		1.主要 2.副次 3.その他（ ）
	主な結果	233 例中 7 例に再発がみられたが、治癒率 97.0%であった。大きさと再発部位に関しては各々、 ① 2cm 以下の再発率：鼻 5.56%（2/36）、肩 20%（1/5） ② 1cm 以下：鼻 6.45%（2/31） ③ 1～2cm：肩 50%（1/2） ④ 2cm 以上：前額・頭頂部 20%（2/10）、耳 33.3%（2/6）であり、全体で 16%（4/25）であった。 腫瘍径が 2 c m 以下なら治癒率は 98.56%（208/233）であるが、鼻や鼻唇溝部に限ってはその再発率が上昇した。	
	結論	全体の治癒率は 97%(226/233)であったが、治療する BCC のサイズと部位により結果が異なる。腫瘍径が大きい再発病巣や、鼻・鼻唇溝部は再発しやすい。整容的には小さい病巣なら十分満足が得られた。	
	備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	神谷秀喜	
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） C & E 治療の適応について明確に言及している。	